

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME : “ RUBICON UC3 TRAX ”

COLOR : NAVY

COVER STOCK : TOUR ETHANE™ SOLID

RG : 2.49 (MID) ΔRG : 0.052(MID)

FACTORYFINISH : 1000Grit ABRALON

TRACKFLAREPOTENTIAL : 6

BACK END : 16 (1-20) MAX LENGTH : 15 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショングラフ

【MEDIUM OIL 編】

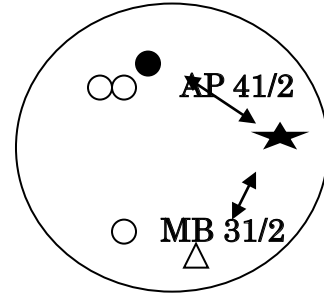
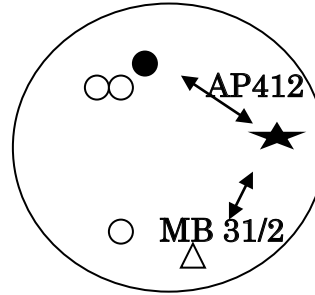


2022年11月30日

レイアウト例

RUBICON UC3

RUBICON UC 3 TRAX

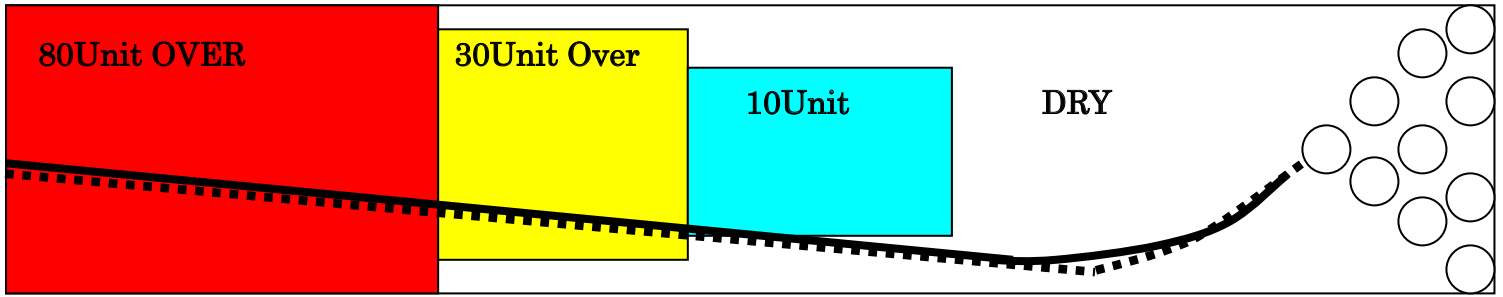


CA57.5度

CA57.5度

フアー幅 最大 43/4 ・ 間隔 1/8

最大 4 3/4 ・ 間隔 1/8



0F

15F

40F

比較品ライン

RUBICON UC3TRAX

RIBICON UC3

【レーン状況】 ベースメンテナンス 41F 22ml の東名デイリーコンディションです、オイル量は多くなく外目は曲がり易いコンディションになっています

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○		△				

\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

今回カバーストックがソリッドになった分全体的な曲がりが変わり立ち上がりは早いものの本来のウレタンらしい動きが見られます。バックエンドでの曲がり方は緩やかなアーク(弓なり)な曲がり継続性を保ちますので、UC3 と比べ小さいとは言っても他のウレタン製品と比べた場合は大きく曲がります。転がりに継続性があるのでピンアクションが良くなっています。

【奨太の目】



ウレタン素材を私は難易度の高いレーンコンディションで良く使用しますが、UC3 や今回の TRAX は若干ブレイクポイントで投球ラインにより止まりが見えますので、リアクティブ製品のように使えます。オイル上での摩擦は強いのでドライ部分との差は少ないのですが、今回の方が曲り出しが早く感じます。曲がる角度を決めたらその方向に向かってゆくように感じ、転がりに継続性があるので曲がる角度が無くても驚く程のピンアクションをするので非常に安心感がありました。STORM 製品 ROTO 製品の開発力の高さにはいつも驚かされますが、今回の RUBICON UC3TRAX は新未来型のウレタン製品として活躍するでしょうね。

発売日：2023年6月予定 販売価格 ¥52,800 円税込 テストセンター：東名ボール テスター川添 奨太プロ